

4 - 3 底生動物

平成 8 年度に実施した河川水辺の国勢調査の結果、254種の底生動物が確認されました。分類群別にみると、昆虫類では、カゲロウ目25種、トンボ目15種、カワゲラ目7種、ハエ目21種、トビケラ目25種が確認されました。また、甲殻綱47種、貝類36種なども確認されています。

調査は、夏季、冬季及び早春に行いました。

代表的出現種としては、汽水域においてコメツキガニ、シロスジフジツボ、カニヤドカリカンザシゴカイなどの汽水性種が多く出現し、中流域ではオオシマトビケラやウルマシートビケラなどのトビケラ目やアカマダラカゲロウなどのカゲロウ目が多く出現しています。

注目すべきものとしては、第十堰より下流の干潟においてマングローブテッポウエビ、シオマネキ、ハクセンシオマネキが、吉野川本川の川島橋付近では主に清流の緩流域に生息するゲンジボタルが確認されています。

